土木工学・建築学委員会分科会の設置について

分科会等名：気候変動と国土分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	土木工学・建築学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>気候変動は社会や経済の様々な面に影響する。特に近年は、豪雨に伴う水害や土砂災害、あるいは台風に伴う高潮といった水災害の激甚化が著しい。こうした事態に対応して、第24期の提言では基本的な考え方に重点を置き、社会全体でリスク認識を共有することが適応策の基盤となる重要課題であるとした。政府は「流域治水」を掲げ、行政による防災対策も含めて社会全体で防災・減災対策に取り組むという方向性を明確にした。</p> <p>しかし、実効性を高めるためには、気候変動によって自然外力の定常性が崩れていることに加え、施策の対象範囲や内容の大幅な拡大に対応した新たな知見や具体的な科学・技術の積み重ねが不可欠である。</p> <p>また、海面上昇量の将来予測によっては高潮災害の頻発が想定される低平地を意識した国土のあり方の検討が求められるが、その場合にも水災害の激甚化とその対策に関する知見や科学・技術が不可欠となる。</p> <p>以上を踏まえ、社会全体としての防災・減災対策を進めるために必要となる知見や科学・技術について検討を行うものである。</p>
4	審議事項	<p>1. 社会全体としての防災・減災対策のために不可欠な知見や科学・技術の抽出</p> <p>2. 国土のあり方を検討する際の基礎となる水災害に関する知見や科学・技術の抽出</p> <p>3. 上記の知見や科学・技術に関する検討と提案に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	令和2年11月26日 ～ 令和5年9月30日
6	備考	